

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	警防業務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	9	1	1	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	警防課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	佐藤俊一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	継続的に講習会を実施することにより、講習修了者を増やす。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	継続的に講習会を実施することにより、講習修了者を増やす。
②①に基づく取り組み結果	継続的に講習会を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・市内事業所の従業員	意図(対象をどうするのか)	市民に心肺蘇生法、AEDの使用方法、応急手当の方法の普及啓発を図り、有事の際にしっかりした応急手当ができるようになる。
②事務事業の概要	救急車が到着するまでの間、現場に居合わせた人により効果的な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	AEDが一般市民にも使用可能になったことにより、初期の救命処置が注目されるようになった。心肺蘇生法のガイドラインの変更により、実施方法の変更、講習項目が細分化され、今後、更なる受講者数の増加が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市広報紙、ホームページ等で地域住民に参加を呼びかけ、消防本部で普通救命講習Ⅰ(一般市民向け:成人を対象)・Ⅱ(一定頻度者向け:成人を対象)・Ⅲ(一般市民向け:小児・乳児を対象)を53回実施し、748人が参加、また上級救命講習(一般市民向け:成人・小児・乳児を対象)を2回実施し、34人が参加した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 普通救命講習修了者数	590	697	782	人	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	13,488	13,231	金額(千円)	内容	14,958	
国支出金(千円)			2,049	救急活動消耗品		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	13,488	13,231			14,958	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	継続的に講習会を開催し修了者を増やしているが、更なる受講者の拡大のため効果的な広報活動等の実施を検討する。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	継続的に取り組み検証し、対応することが安全に暮らせる社会に繋がる。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防団運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	2	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	警防課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	佐藤俊一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	消防団員の環境整備として処遇強化に取り組み、団員確保のための広報活動の拡充を図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	消防団施設の維持管理及び、団員確保のための広報活動の拡充を図る。
②①に基づく取り組み結果	消防団員の処遇改善として、報酬及び費用弁償の改定を行った。また、各イベントを活用し、団活動PRIにより広く広報した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防団員、消防団施設、消防団車両	意図(対象をどうするのか)	災害活動に関する消防団員の環境整備及び消防団施設の機能維持管理。
②事務事業の概要	各種災害に出動して中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、取り巻く環境を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	産業・就業構造の変化等による被雇用者(サラリーマン)の増加と若年層の流出、また、消防団員の高齢化がさらに進み、入団者の減少による定員割れが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	処遇改善として消防団員のうち部長・班長・団員の階級の年額報酬及び、費用弁償の引上げ改定を行った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 消防団員の定数に対する充足率	97	93.4	90.4	% 業務取得
	ii 機械器具点検	480	480	480	人 業務取得
	iii				
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	24,039	27,433	金額(千円)	内容	29,260
			5,559	消防団員報酬	
			7,485	費用弁償	
			1,024	健康診断手数料	
一般財源(千円)	24,039	27,433	2,060	消防団運営交付金	29,260

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	危機管理体制や地域防災力の向上など、防災に関する市民ニーズは上昇傾向にあり、今後、更に高まると予想できるため、継続して行う必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防団装備品整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	2	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	警防課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	佐藤俊一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみのものであるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	消防団の装備品について「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」による消防団装備品の更新及び日本防災協会認定品への防火衣の更新を行う。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防団員、消防団装備品	意図(対象をどうするのか)	消防団装備品について機能性等に優れたものに更新する。
②事務事業の概要	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地域防災の中心的役割を担う消防団の活動は、今後さらに重要となることが想定されることから、引き続き消防団装備品の充実を図る必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	消防団員の活動服について、機能性及び識別性に優れたものに更新した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 消防団活動服の更新数			326	着	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	0	4,788	金額(千円)	内容	980	
国支出金(千円)			4,788	消防団活動服更新		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		3,000			980	
一般財源(千円)	0	1,788				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	消防団装備品整備事業として後期基本計画第3次実施計画に計上し、平成27年度から31年度にかけて計画的に装備品を整備する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	消防団装備品の充実強化に関しては、平成27年度から計画的に進めているところであり、今後もこれに係る手続きを進める必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	消防団活動服の更新。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	消防団活動服326着を更新した。	4,980	4,980	当初	4,980	4,788	H26からの繰越	
				H26⇒27繰越			現年分	4,788
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円)						